

# 令和4年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:8月22日(月)

会場:川西コミュニティセンター

参加者数:22人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>・川西小学校には、1階に洋式トイレがなく、2階と3階については、1箇所しかない。短時間である休憩時間では行けず、授業中にトイレへ行くようになるので、洋式トイレを増やしてほしい。また、体育館には、多目的トイレが一つあるが、鍵がかからないので直してほしい。</p> <p>・三次に公園はあるが、ボウリングなどができる大きいスーパーを作してほしい。</p>	<p>・市内の小・中学校では、和式トイレから、洋式トイレへの改修をの設置を計画的に進めている。川西小学校についても意見をいただいている。体育館が避難場所となっている地域も多く、高齢者などの皆さんから不便であるという意見がある。防災施設では、臨時的な洋式トイレの設置を含めて検討していく。</p> <p>・三次市内には遊ぶところが少ないという意見をいただくが、実は、色々な遊び方がある。都会のような大型ショッピングセンターやボウリング場などはないが、山や川など豊かな自然がある。三次にある資源を生かしていきたい。</p> <p>・小学校や地域では、様々な活動をしなが遊んでいる。市教育委員会としては、地域をもっと知ってもらい、色々な経験をしてほしい。川西地区には多くの魅力があり、大人も一緒に活動しようと学校に来てもらっている。例えば、お茶を習う場を作っておられる。子どもたちが、地域で、日本の文化や精神、お茶の楽しさなどを経験できること、みんなでつながることの喜びを知ることができることは、川西地区の良さである。子どもたちには、今後も、川西地区の良さを勉強しながら、色々な考えを持って、多くの人と話をしてほしい。</p>	
<p>・過去10年間で、259人が減少し、世帯としては44世帯で約9%が減少している。このまま推移していくと、10年後には、約800人、高齢化率は54.9%になると分析している。また、小学校の生徒数も、この10年間で23人減っており、10年後には23人、さらに10年後には17人と推移していく。この状況を見据えて、様々な取組をしている。国土交通省のスマートシティ事業の指定を受けて、スマートフォン教室の開催やタブレットの配布などをしたが、ついていけない方が多く、農事組合法人で導入したデジタルも運用できていない面がある。川西地区には高齢者が多く、Wi-FiやDXを導入するための基本環境が整っていないことが理由と考える。市は、基本的な社会環境の整備を進めてほしい。</p> <p>・移住に関しては、地域の魅力を持つことが重要であり、地域で、将来像を共有して、何とか楽しい地域にしようと工夫をして動いていることが必要である。また、住んでみて寂しくないこと、安心して暮らせることが大事である。川西郷の駅やコミュニティセンター、都市農村交流拠点を有機的に結び付け、地域における経済を循環させながら、にぎやかな過疎をめざしていきたい。地域でできないことを市で取り組んでほしい。</p>	<p>・川西地区は、これまでも持続可能な地域づくりをめざして、川西郷の駅やほしはら山の学校を中心に、地域資源を生かした取組を進めてこられた。ほしはら山の学校では、市内外の親子連れが川西地区の良さや地域資源に触れるなど、関係人口を増やしておられる。このことが、地域の魅力の発信につながり、定住にも結びついていく。色々な世代が力を合わせ、自分たちの地域は自分たちで守ろうという姿勢は参考になる。川西地区の農業や地域づくり、あるいは自主防災などの取組については、今後の参考にさせていただきたい。</p> <p>・デジタルやITは、今後も切り離せないものである。しかし、一気に進めていくことによってひずみが生じてしまうことから、スマートフォン教室などを積み重ねていくことが重要である。また、市内には光ケーブルが張り巡らされており、中山間地に住んでいても、情報過疎にならないことが三次の魅力である。今後も、基盤を更新するように考えている。</p>	
<p>県外から移住してきた。去年から、「Teto teto」という屋号のもと、移住者の母親3名で、川西地区の特産品づくりをしている。三次市の特産品、そして広島県の特産品としていきたい。上田町の生産者グループから、はぶ草茶づくりを受け継ぎ、ほうじ茶シロップなどに加工した。耕作放棄地の使用や、無農薬など栽培過程にこだわって、次世代につなぐために活動している。川西地区は挑戦しやすいまちであると実感している。来年9月、川西小学校の児童にラベルをデザインしてもらおう計画であり、地元アーティストのポムさんとも連携して、多くの方々がつながりを感じられるものにしていきたい。私たち自身が川西地区での暮らしを楽しむことが、定住や移住したい人のきっかけづくりになると思っている。今後も、川西小学校が存続するように頑張っていきたい。</p>	<p>県外から移住してこられ、地域の実践者として取組を紹介していただいた。移住者だから見えることもあるのではないかと感じた。はぶ草茶を活用して地域をつなぐ取組は、広島県における取組事例としても評価されている。市内に実践者がいることを、多くの皆さんに知ってもらえる機会をつくりながら、それぞれの地域の魅力を発信していきたい。色々な世代による取組が、学校の存続や、地域に住む皆さんの生きがいにつながる。引き続き、色々な取組の情報を広く発信してほしい。また、市としても、取組の情報をしっかりと収集しながら、周知を行い、それぞれの地域の魅力づくりに取り組んでいきたい。また、活動をされているほかの皆さんとの懇談会や意見交換会もあればと思っている。</p>	

# 令和4年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日: 8月22日(月)

会場: 川西コミュニティセンター

参加者数: 22人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>市長には、文化にも意識を向けてほしい。戦後はじまった県美展は、今年もコロナで中止になっている。中止の理由としては、「近年の巡回展への入館者数が減少している。市民の皆さんに広く作品をご覧いただく機会として適当であるかどうか、総合的に検討していく」とある。10年後の三次市の文化を考え、今後も、文化・芸術に積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>・文化分野への予算を配分しながら、文化・芸術の振興をしっかりと行ってきた。コロナ禍により、文化行事やイベントなどが延期や中止になっていたが、私自身、文化活動が日常生活の中でかけがえのないものであると実感した。文化芸術の振興にご尽力いただいた皆さんには、特にこの2年半、寂しい思いをされてきたのではと感じている。三次市の地域づくりのためには、皆さんと連携をして、文化の発展・振興を図ることが、重要な要素であると認識している。県美展は、文化・芸術を振興されている方々にとって重要な場であると思っている。今後の県美展のあり方、あるいは関わり方について、教育委員会を中心に検討していく。</p> <p>・新県美展は、ここ2年間は開催できない状態にあり、皆さんの作品意欲があった中での中止という対応については申し訳ない部分もあった。市内の各美術館では、市民の参加のもとで、企画展などの取組をさせていただいている。皆さんの出品意欲や創作意欲、あるいは、文化振興へ向けての意欲を受けとめていきたい。</p> <p>・今、三次市総合計画の改訂作業をしているところであり、文化振興について、どのような三次市の未来を創造し、どのような取組をするのか、しっかりと盛り込んでいきたい。今後、市民の皆さんに参画をさせていただく中で、文化振興に関する意見を反映させていきたい。</p>	<p>令和5年度は、新県美展応募作品受付・巡回展再開予定</p>
<p>市内の高校を卒業した子どもたちが、三次市に定住するように、製造業の企業を誘致してほしい。毎年、市内の高校から20人程度の子どもたちが就職すれば、三次市の人口も増えていくのではないか。</p>	<p>製造業を誘致すれば、雇用の拡大につながるが、製造業を望んでいる学生ばかりではなく、学生のニーズも多様化している。製造業に就職したいという子どももいれば、IT関係の仕事で自立をしたい、土木事業に従事したい、あるいはケーキ屋をしたいなど、子どもたちの選択肢も増えてきている。行政としては、自分たちで仕事をつくることをサポートしていくことが大事であると考えている。現在、アシスタラボでは、女性の生活スタイルに合わせた仕事のあり方などが調査・研究されており、実際に、起業されている方も多くおられる。引き続き、仕事に結びつくような取組を広げていきたい。小学校、中学校、高校の教育の中で、三次市から離れても故郷を連想させる、そして、三次の印象をずっと持ち続けることが重要である。新しい教育ビジョンの中で、教育委員会として実践しているところである。人づくりが地域づくりにつながることから、教育委員会と連携をしながら、三次市の将来のあり方を考えていきたい。</p>	
<p>三次市の元気づくりのためには、結婚が重要である。交流会などを開催する際には、地域の役員だけに任せず、行政職員にも出してもらえば、参加者もその気になるのではないか。会議にも出席してほしい。</p>	<p>結婚希望のある独身の方にアンケートを取ったところ、出会いの機会が少ないという意見をいただいた。本市では、出会いの創出に向けた活動をしている団体等への財政支援を行っている。また、広報紙やホームページ等で、積極的にイベント情報の発信を行うとともに、具体的な相談なども受けている。引き続き、諸団体への支援を行っていきたい。</p>	
<p>川西地区には砂防ダムが多くあるが、土砂がたまっているので、早く取り除いてほしい。</p>	<p>広島県内には急傾斜地が多い。砂防ダムの設置や、砂防ダムにたまった土砂の撤去が、順次、行われている。要望箇所を再確認し、今後、県とも相談しながら、検討していきたい。</p>	
<p>地区の民生委員は日頃から頑張っておられ、その補佐をする協力員の皆さんにも頑張ってもらっている。しかし、ガソリン代などの支援がない。民生委員と同じくらいの扱いをしてほしい。</p>	<p>高齢者見守り隊の活動に対しては、市から民生委員協議会へ委託料を支出し、活動費に充てていただいている。民生委員は高齢者見守り隊として、地域内の高齢者の方へ電話をしたり自宅訪問を行うなど、状況の確認や様々な高齢者支援を展開していただいている。しかし、高齢者が増えることにより、見守り活動なども増やさなければいけない状況になっており、高齢者見守りを含めた民生委員の役割が増えてきていることは理解しており、行政としても心強く感じている。民生委員児童委員の活動は、基本的にボランティアであるため報酬はない。そのため電話代や燃料代に充てていただくように活動費を支出している。高齢者見守り隊の活動に対する委託金については、今後の検討課題にさせてほしい。また、健康寿命を延伸して、元気な高齢者の皆さんに地域活動をしてもらいたい。</p>	